

平成22年度 学校評価
保護者アンケート結果

全 学 年

平成23年4月25日

学校法人佐藤栄学園 さとえ学園小学校

平成22年度 学校評価における保護者アンケートの分析と考察

1. 学校評価における保護者アンケートの実施

(1) 実施期間

平成23年 3月 1日～ 3月 5日

(2) アンケート対象者

全校児童の保護者 473名

(3) アンケート回答数

425名(回収率 89.8%)

2. アンケート項目及び回答方法

次の8つの大項目に分類してアンケートを作成し、実施した。

学習指導 生活指導 学校行事 特別活動 進路指導 家庭との連携
学校事務 学校保健

大項目内の、それぞれの質問に対する回答方法は、『当てはまる。』『だいたい当てはまる。』『どちらとも言えない。』『あまり当てはまらない。』『当てはまらない。』の中から一つを選択する方法で実施した。

3. アンケート結果

各アンケート項目の集計結果は以下に示すグラフのようになった。また、各グラフの帯の上にある数字はその選択肢の回答者数となっている。未回答者数はグラフには反映されていないので、必ずしも回答者の合計が全回答数と一致するとは限らない。

4. アンケート結果の分析と考察

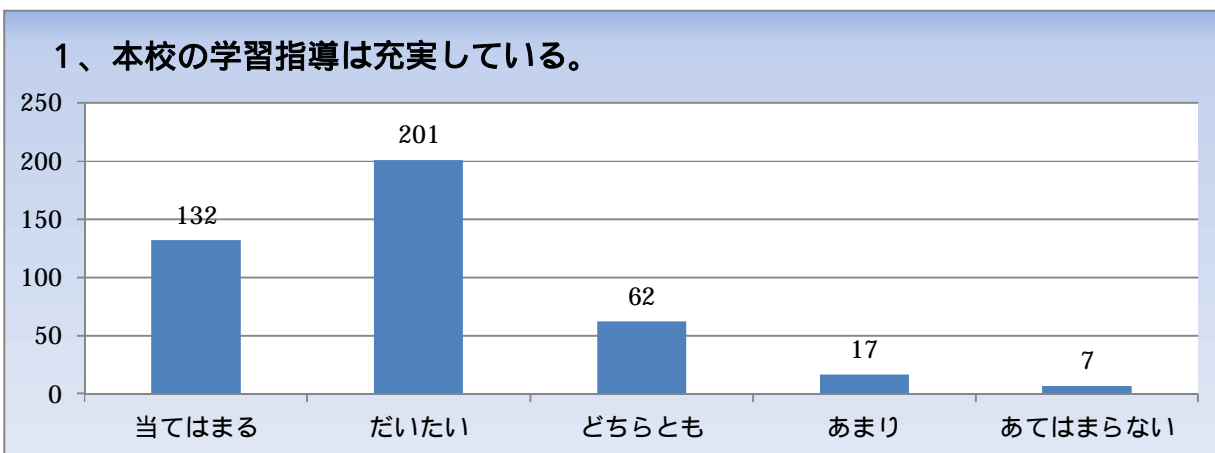
各アンケート項目のグラフの後に記載。

平成22年度 学校評価保護者アンケート結果

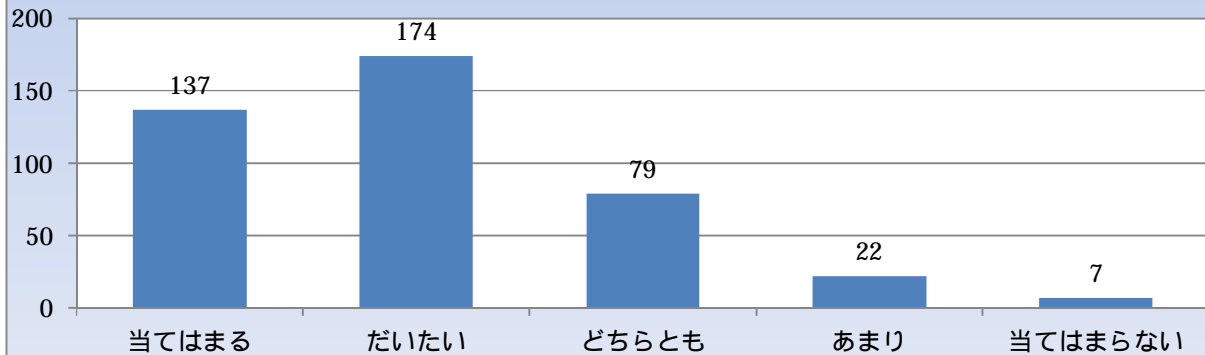
さとえ学園小学校

全学年 回答数425

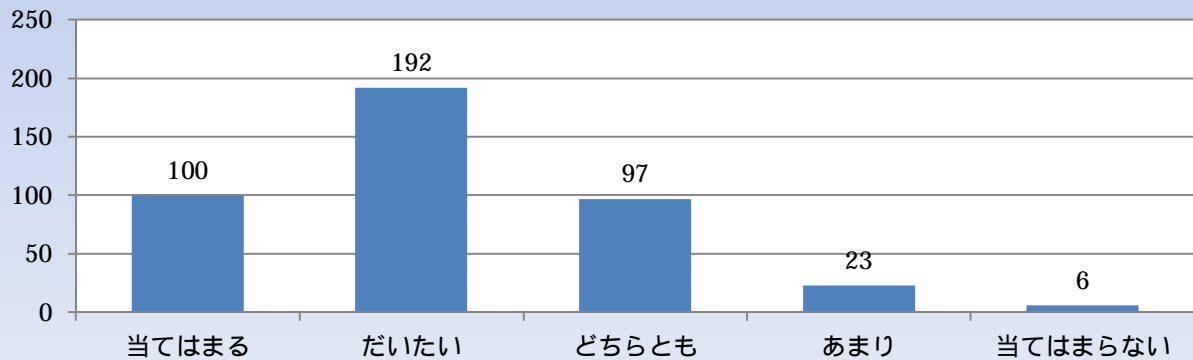
学習指導



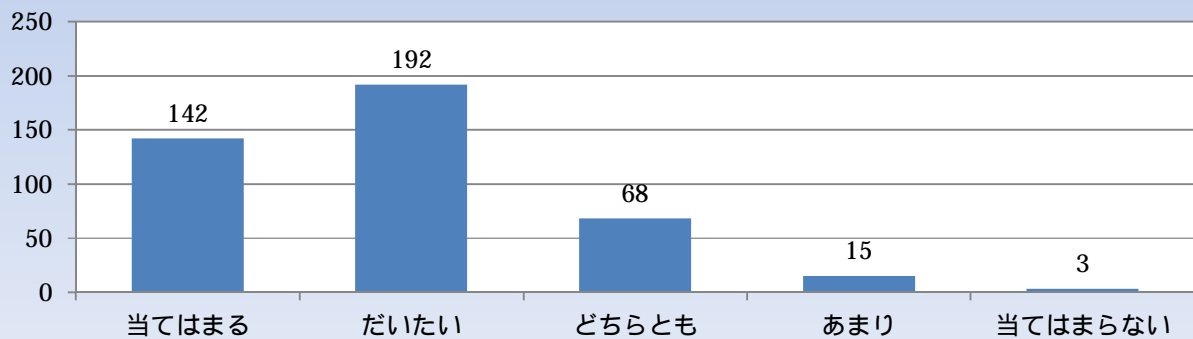
2、学習指導(授業)は分かりやすいものになっている。



3、学習指導のレベル(難易度)は適正である。



4、教科の各種教材は充実している。

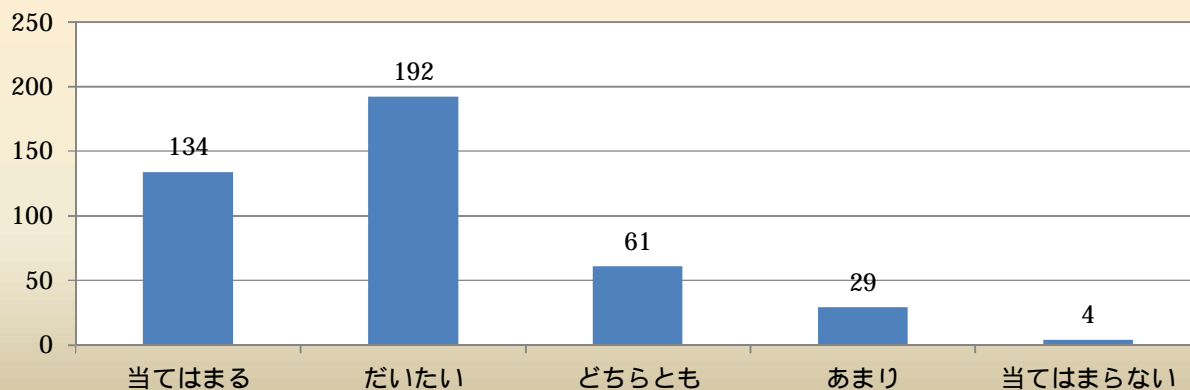


学習指導 アンケート結果の分析と考察

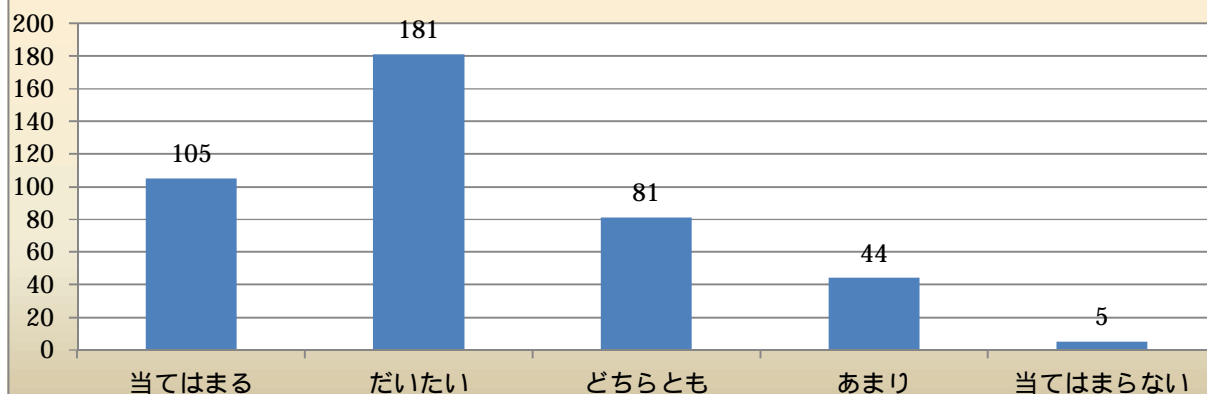
「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。しかし、学校教育活動の柱となる内容であり、一層の改善が必要になる。

生活指導

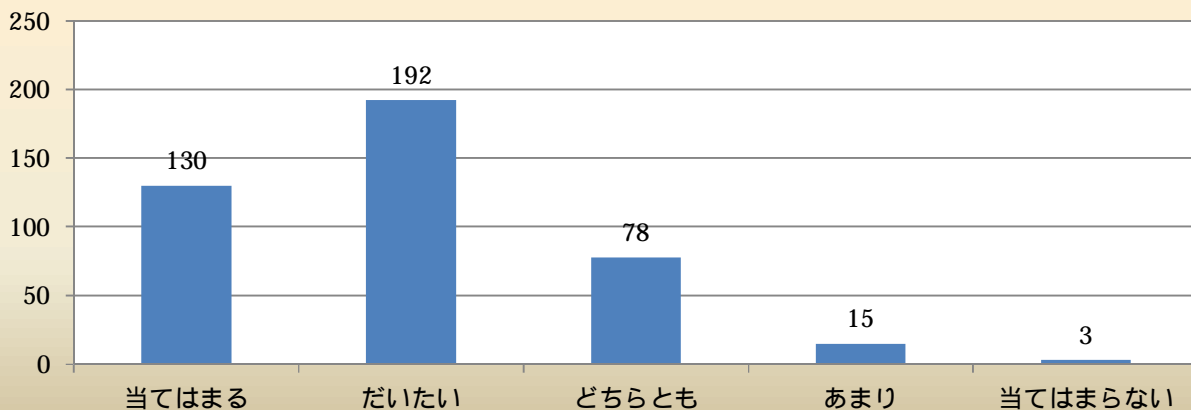
5、本校の生活指導は充実している。



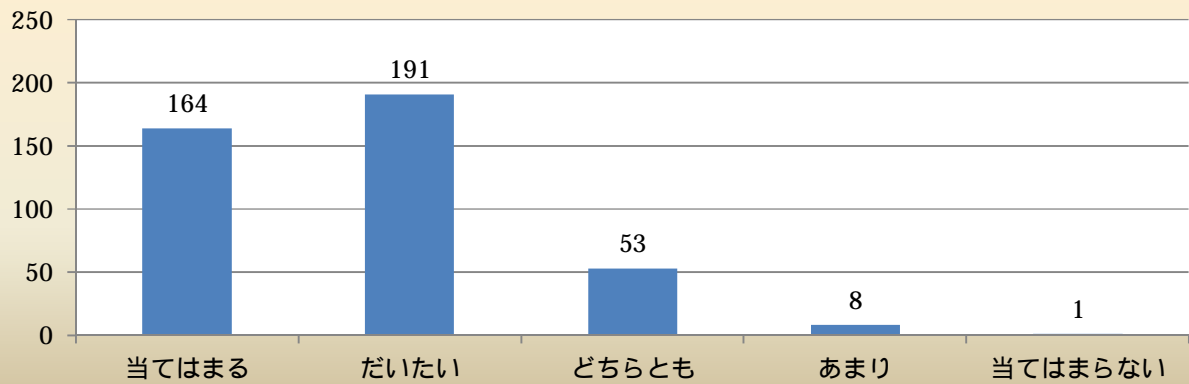
6、生活指導の内容(服装、言葉遣い、挨拶、マナー等)は適正である。



7、交通安全指導は適正に行われている。



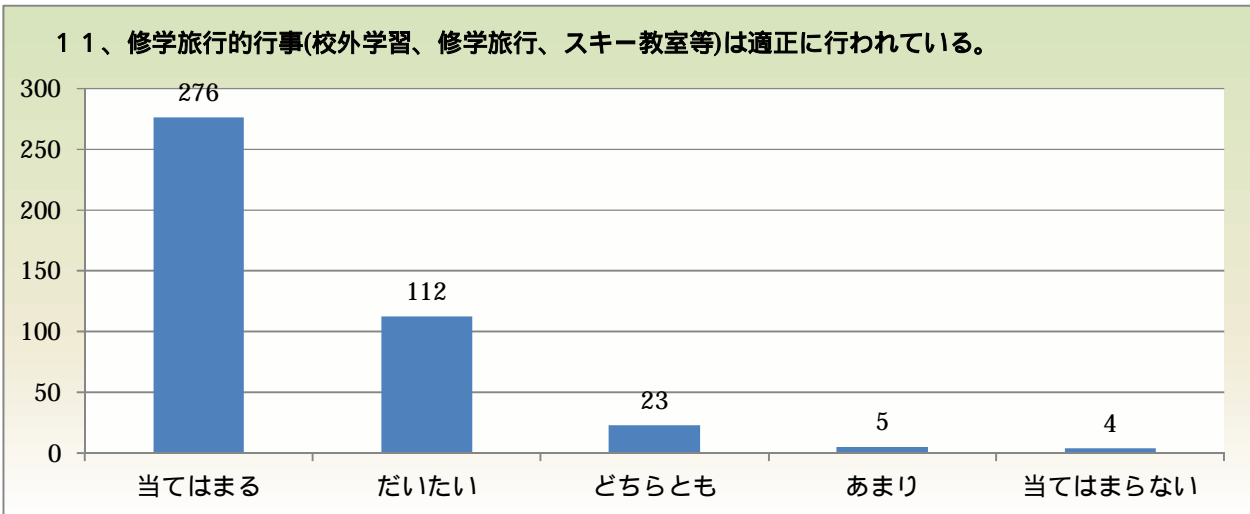
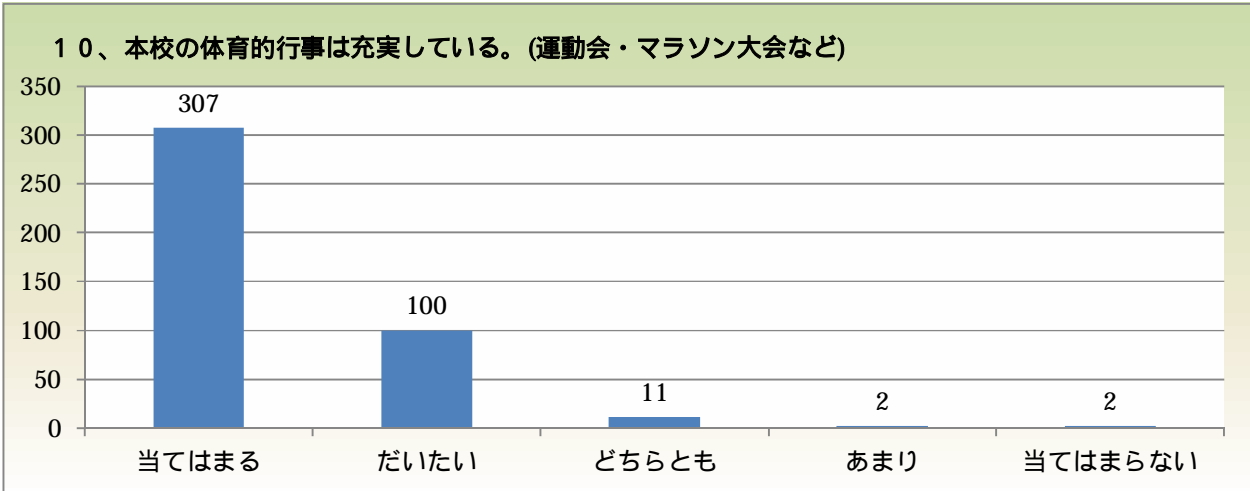
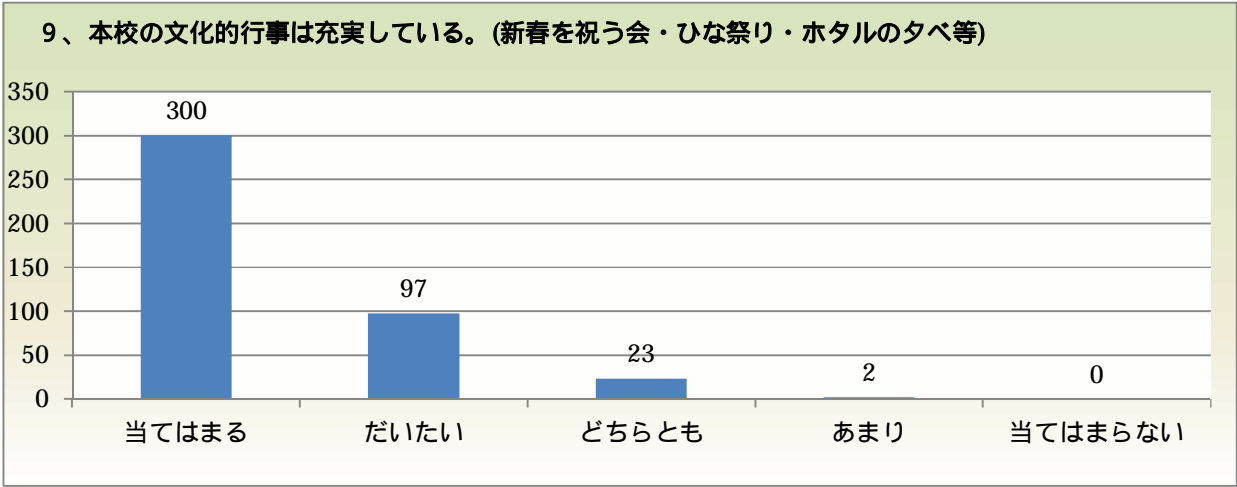
8、防災・安全教育指導は適正に行われている。



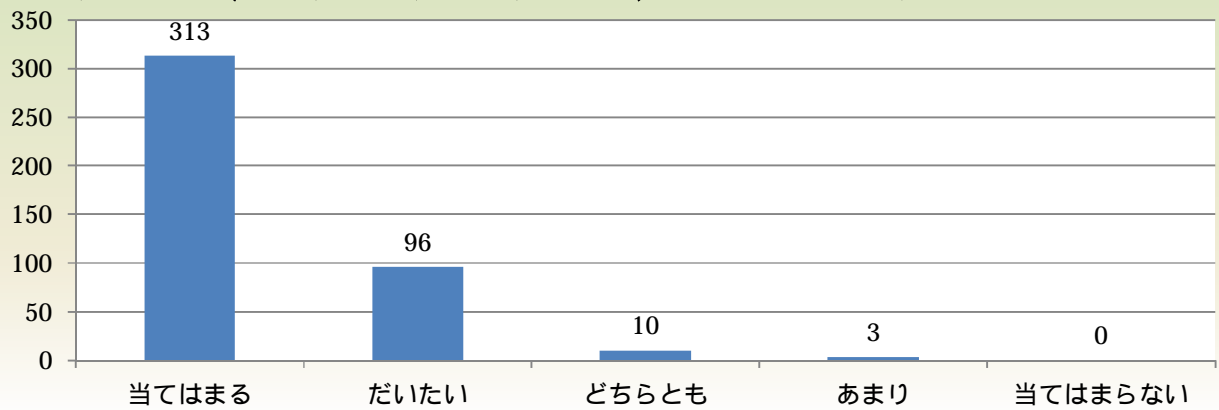
生活指導 アンケート結果の分析と考察

「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。しかし、学習指導と合わせて学校教育の柱となる内容であり、一層の改善と指導方法の工夫が必要になる。

学校行事



12、儀式的行事(入学式、卒業式、始業式、終業式等)は適正に行われている。

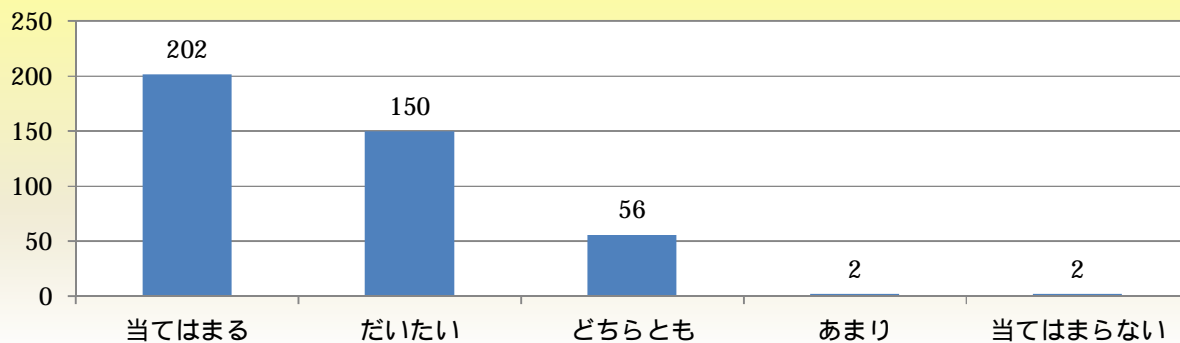


学校行事 アンケート結果の分析と考察

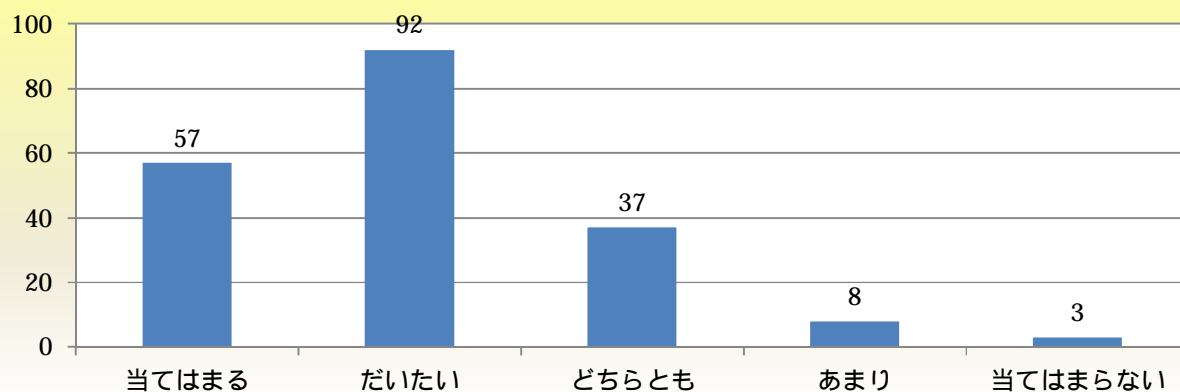
「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。今後も保護者の参加を積極的に呼びかけながら、児童、保護者、学校が一体となった魅力ある行事を目指す必要がある。

特別活動

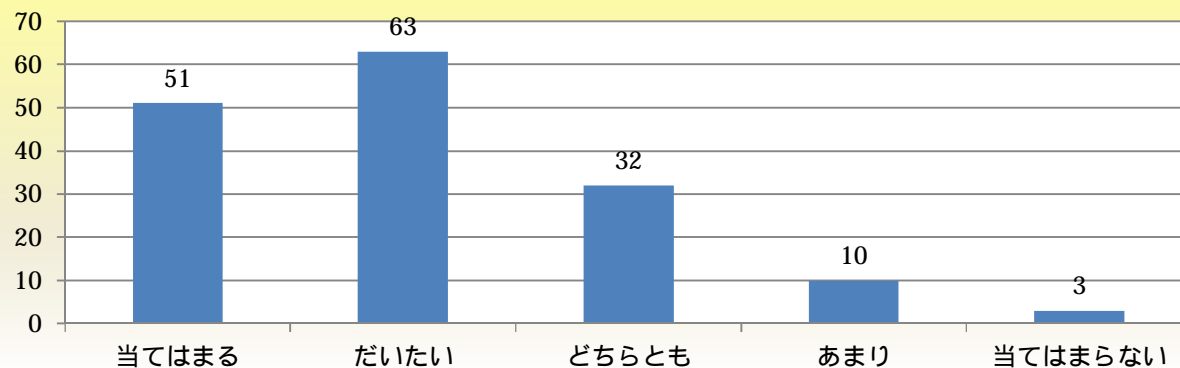
13、学級活動や学年活動は充実している。



14、児童会活動は充実している。(高学年のみ回答)



15、クラブ活動は充実している。(高学年のみ回答)



特別活動 アンケート結果の分析と考察

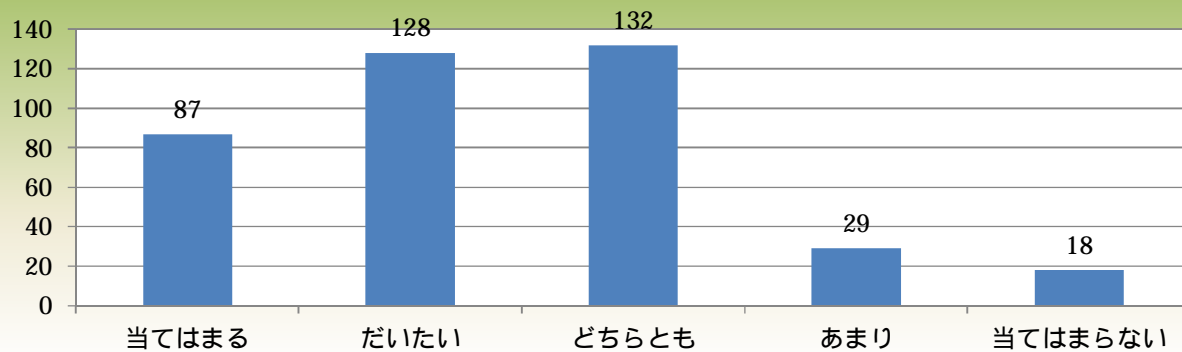
「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。しかし、児童の学校生活の中心となる教育場面であり、担任団の研修を含めて、より一層の改善が必要になる。

進路指導

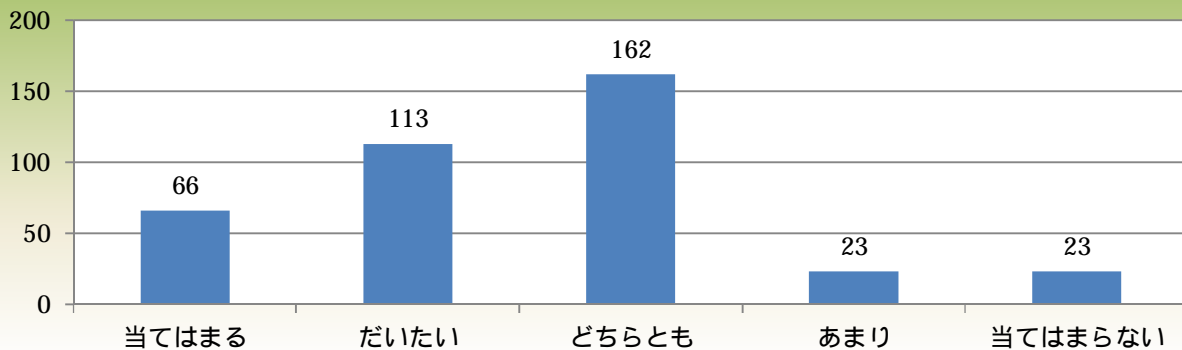
16、本校の進路指導は充実している。



17、担任との協議・相談等の進路指導は充実している。



18、児童の適正・将来を考えた進路指導をしている。



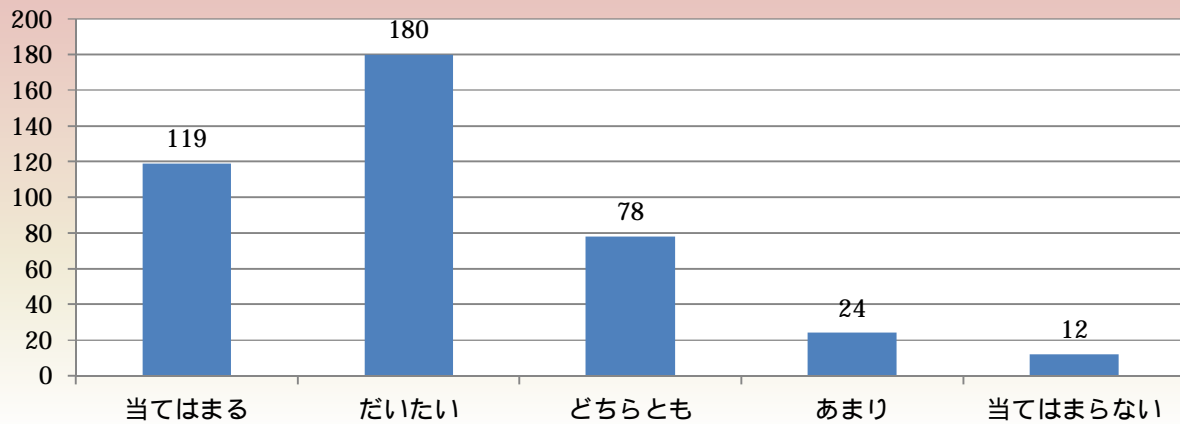
進路指導 アンケート結果の分析と考察

「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合と「どちらともいえない」と回答した評価の割合から、この大項目については「改善の余地がある」レベルにあると思われる。

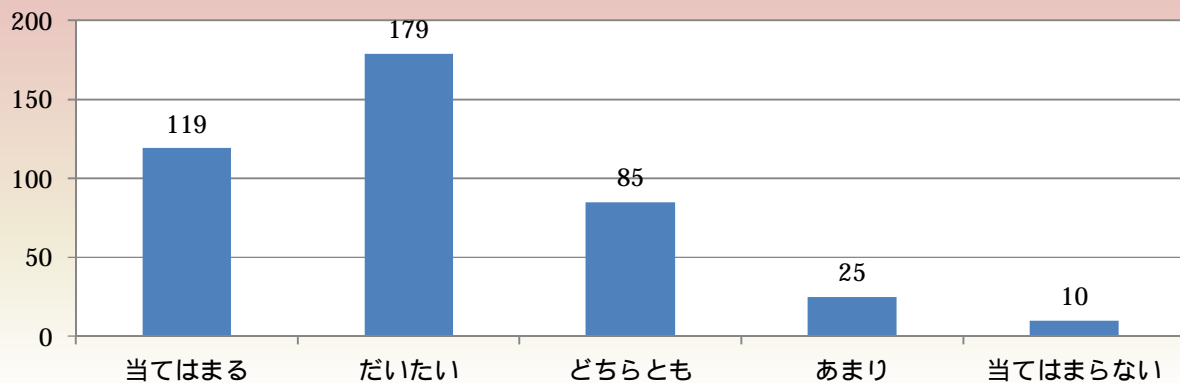
しかし、一方で評価者を低学年の保護者に広げたことが「どちらともいえない」という回答の多さに繋がったとも分析できる。いずれにしても、本校の進路指導（進学指導に限定していない広義の意味での進路指導としている）の在り方については、今後も改善、検討の必要性があるといえる。

家庭との連携

19、「共育」の考え方のもと、家庭との連携は充分にとれている。



20、学校の様子が家庭に良く伝わっている。

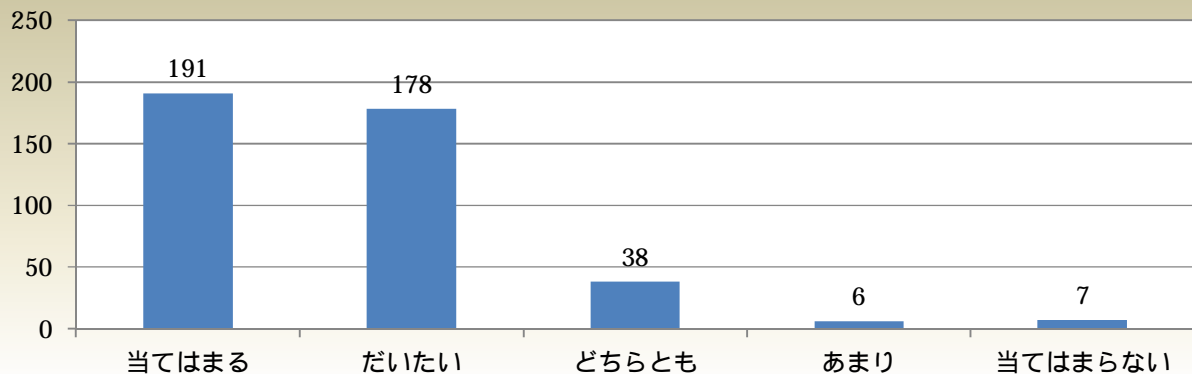


家庭との連携 アンケート結果の分析と考察

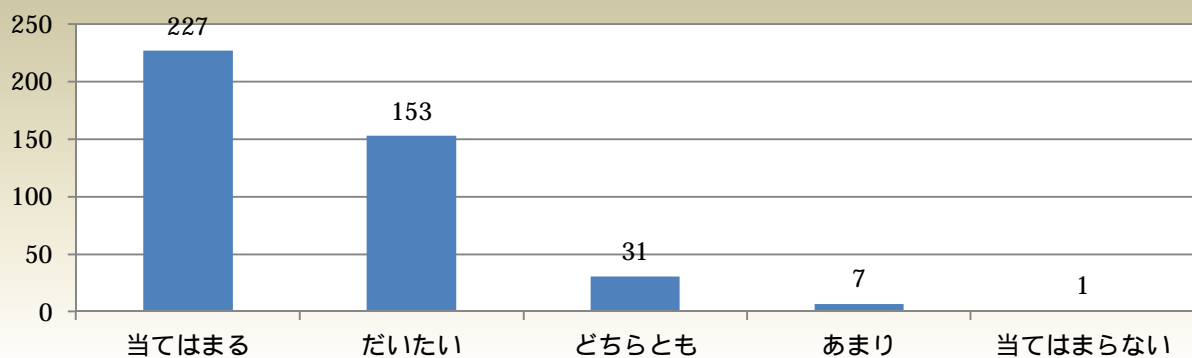
「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。しかし、本校の提唱する「共育」の思想の柱となる内容であり、今後も一層の充実がのぞまれる。

学校事務

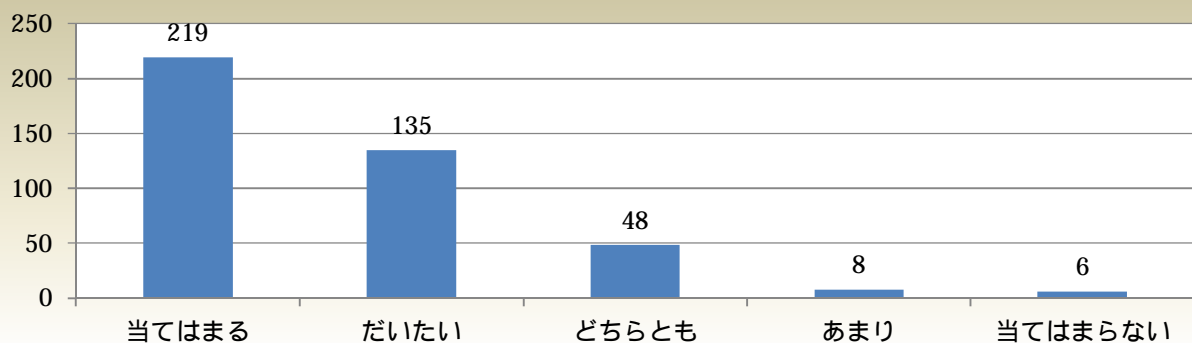
2 1、学校からの事務連絡や事務室の対応は充実している。



2 2、学校事務の窓口対応は適正である。



2 3、購買業務については適切である。

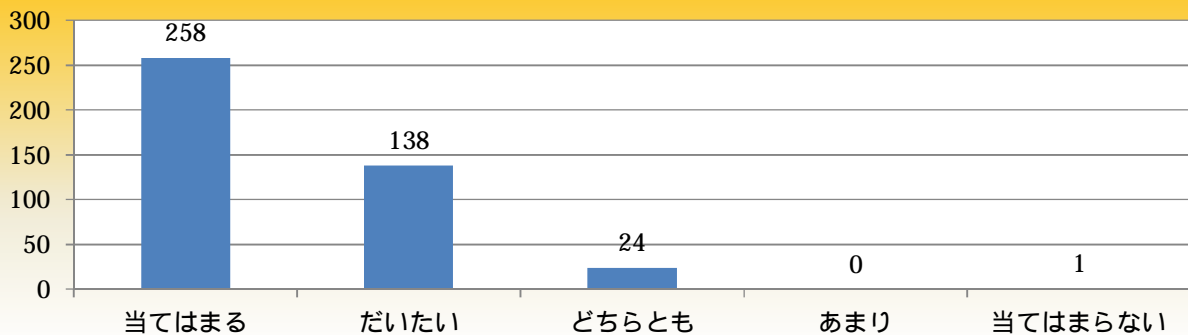


学校事務 アンケート結果の分析と考察

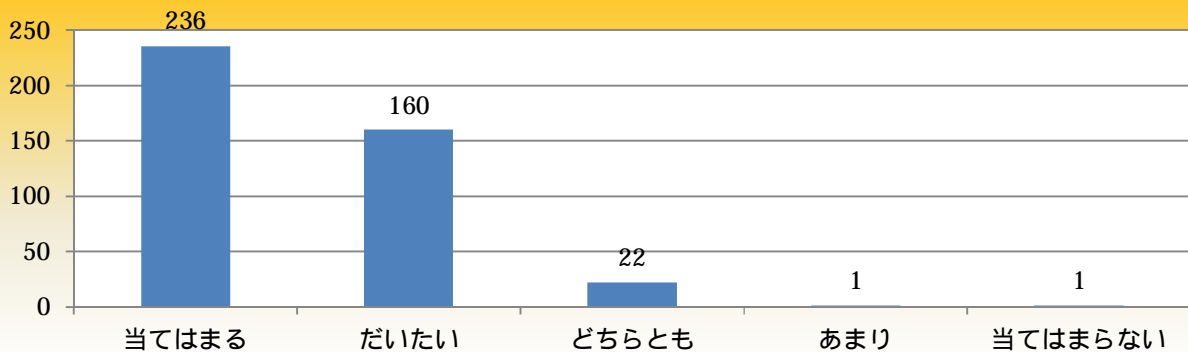
「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「おおむね満足できる」レベルにあると思われる。今後も保護者との連携を考えながら利便性を高めた事務作業、並びにきめ細やかな保護者対応とが要請されている。

学校保健

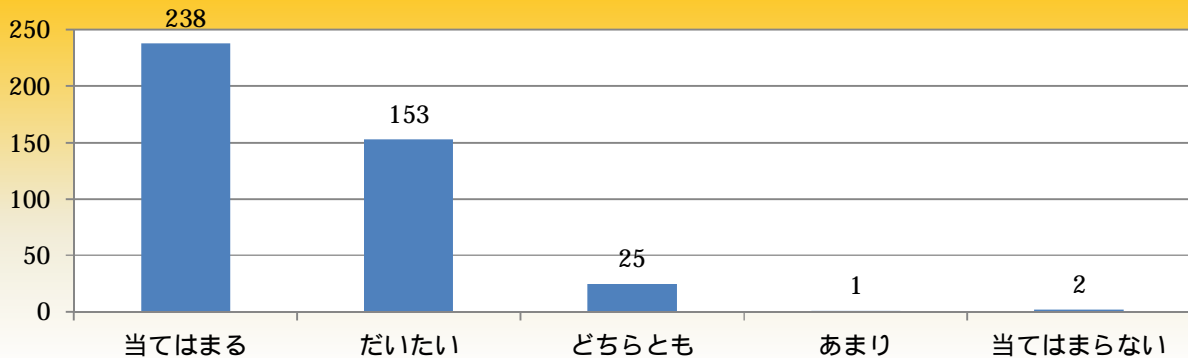
24、学校保健活動は充実している。



25、児童の健康・安全管理は適正に行われている。



26、児童の健康・安全の啓蒙活動は適正に行われている。



学校保健 アンケート結果の分析と考察

「当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した評価の割合から、この大項目については「概ね満足できる」レベルにあると思われる。しかし、児童の安全・安心を保障する根幹となる内容であり、今後も一層の改善は勿論必要になる。将来的には児童の「心のケア」にも目を向けた対応が必要になってくるとと思われる。